

生活困窮者自立支援における人材養成

～ コロナ禍の中での研修の取り組みを振り返り、次につなげる ～

国立大学法人九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 運営委員

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 フェロー 加留部 貴行

1. 実践報告

■事例報告を聴いて感じたことを整理しておきましょう

2. 今年度の研修の取り組みの振り返り

■あなたの今年度の取り組み状況のポイントを整理しておきましょう

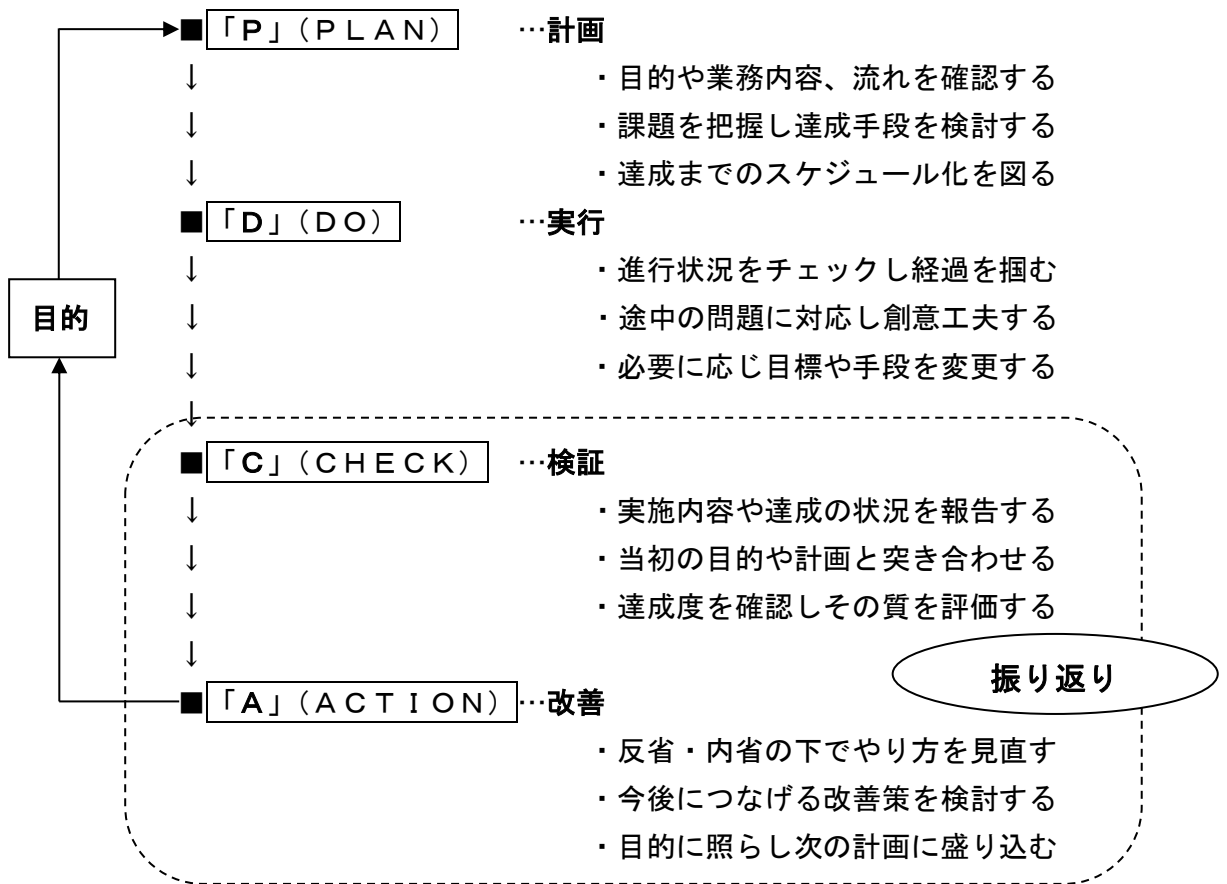
■書き出した内容を小チームに分かれて共有します。

【進め方】

- ・お名前の50音順で話してください。
- ・対話の時間は20分です。
- ・タイムキープはメンバーで協力して行ってください。
- ・まとめなくていいです。書いた内容の共有のみで大丈夫です。
- ・時間が余ったら、どなたかのよもやま話をお続けください。

3. コロナ禍でのニーズの把握と研修のプログラムづくり

(1) 振り返りによって業務の「PDCAサイクル」を回す [加留部作成]

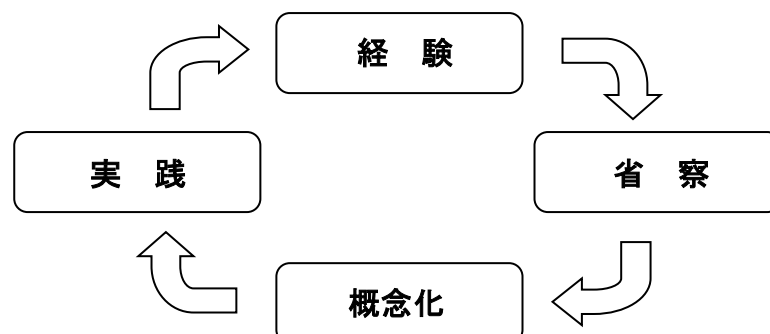


- ・「C」から始める →過去を振り返り、目標の妥当性、達成方法・手段を検証し、徹底して問題点を抽出して改善することで「P」の精度を高める
- ・「D」の途中でも「C」を行う →早め早め問題点を発見して対処していく

(2) 経験から学ぶことで「大人の学び」へつなげる

- ・振り返り＝「省察」＋「概念化」

【図1】D. コルプの経験学習モデル



(3) 人を管理して「育てる」だけではなく、人を支援して「育ち」を促す

【図2】管理と支援の本質的な違い（出典：館岡康雄氏『利他性の経済学』より）

	管 理	支 援
行為者	自分のことを知らせて(計画) 相手を変えることによって、 自分の意図をはたす。	相手のことを知って、 自分を変えることによって、 相手の意図をはたす。
被行為者	相手のことを知らされて(計画) 自分を変わらせられることによって、 相手の意図をはたさせられる。	自分のことを知って貰って、 相手に変わって貰い、 自分の意図がはたされる。

本質的な違いとは：管理は自分から出発して相手を変える行動様式
支援は相手から出発して自分を変える行動様式

■質疑応答やアンケートは次のニーズを把握する大切な機会

4. これからに向けて

■これから取り組んでみたいことをシートに書き出してみましょう

■書き出した内容を小チームに分かれて共有します。

【進め方】

- ・お名前の50音順で話してください。
- ・対話の時間は25分です。
- ・タイムキープはメンバーで協力して行ってください。
- ・まとめなくていいです。書いた内容の共有のみで大丈夫です。
- ・時間が余ったら、どなたかのよもやま話をお続けください。

【対話のメモ欄】

5. 質疑応答と全体振り返り